

児童教育学科

教育推進研究費報告書（関東地区の教育現場視察）

児童教育学科長 松浦光和

目的

児童教育学科では、小学校勤務希望者に対し出身県への就職を勧めてきたが、学生の多くは宮城県並びに近隣の県から来ているために、皆が地元に戻るわけではない。そこで窮余の策として、地元で教員にならない場合は関東圏も就職先として検討する様に伝えてきた。ただし、学生は関東圏の事情をあまり知りませんので、実際に見学させていただいて、関東圏の教育現場の状況を把握することを目的とする。

実施内容

- ①研修期間および行程：2014年2月20日（木）～22日（土）。20日に集合、21日に小学校見学、22日に関東圏勤務のOGとの情報交換会。
- ②各都県小学校の見学：参加学生は、千葉（9名）・埼玉（2名）・神奈川県相模原市（11名）・東京（1名）。
- ③見学場所：千葉（市川市大洲小学校）、埼玉（川口市立在家小学校）、神奈川県相模原（相模原市立鹿島台小学校）、東京（東京都教育委員会主催見学ツアー）。
- ④引率者：松浦・小柴・生野・中込・豊澤・狩野・中村（副手）（以上、敬称略）

結果及び考察

学生は、各小学校で児童の活動を見学し、給食もともにして、親しみを感じた者が多

く、校長はじめ先生方の話も聴いて、小学校勤務を現実のこととして実感出来たと思われる。

さらに、関東圏の小学校で活躍しているOGとの情報交換会では熱心に聞き入る姿が見られた。特にOGからの情報は、これから志願する地域の事情を詳しく知る上では有効であったと考えられる。

この試みで、宮城県の教員採用試験の受験を検討する一方で、関東への就職についても、きちんと考える学生が増えたと考えられる。



市川市大洲小学校にて



OGとの交流会

（2014年7月23日）

